SHIRLEY BOYS' HIGH SCHOOL
"Kiwi Soul, Global Vision"

www.shirley.school.nz

シャーリー・ボーイズ・ハイスクール ニュージーランド、クライストチャーチ

シャーリー・ボーイズ・ハイスクールは、全校生徒数1,200名の男子高校です。本校は、男子教育の専門家であることに誇りを持っています。インターナショナル・プログラムでは、アメリカ、アルゼンチン、フランス、ドイツ、香港、中国、イタリア、日本、韓国、スロバキア、タイ、ベトナムなど、多様な国からの留学生を迎えています。留学期間は、それぞれ1学期間、1年間、最長では5年間とさまざまです。

シャーリー・ボーイズ・ハイスクールは、バランスの取れた教育を提供するために、学業、リーダーシップ、スポーツ、文化、コミュニティの5つの柱に重点を置いています。本校は、留学生がこれら5つの分野全てに関わるよう努めています。

シャーリー・ボーイズ・ハイスクールは、学業の成功に加え、独立心と目標達成へのコミットメント精神に重点を置いています。(「BtB」Better than Before：前に比べて進歩すること)。本校は、生徒が学習の喜びを知る生涯学習として、バランスの取れた地球市民に成長することを望んでいます。本校は、個性の開発に力を入れており、生徒は「シャーリー・メン」としての認識を持って卒業します。2015年のEROレビュー*では、次のように述べられています。「本校には、あらゆるレベルで肯定的な関係に焦点を当てた強力な学校文化が存在します。これにより、過去の課題に自信を持って対処し、将来に向けた健全な学習機会を構築することができています。生徒は、学校への強い帰属意識と学校社会の一員としてのアイデンティティに対する自信、そして学校全体の実績に対する誇りを持っています。本校には、十分に開発された男子教育の理念があります。」

キウィ(シャーリー)スピリットと国際的な視点

- シャーリーの生徒は、「BtB」として生徒間で知られている「Better than Before」というモットーに導かれ、肯定的で支援的な環境において、個人的成長と生涯学習者としての姿勢やスキルを身につけます。
- 「シャーリーマン」の文化と精神は、人格の本質に焦点をあてて育まれるため、社会的にも精神的にも有能で、回復力に優れた、将来に対して明るい展望を抱く若者へと成長します。
- 男子のニーズに合わせて特別にデザインされた学習スタイルにより、生徒の積極的な関与を引き出すことで、より大きな成功とより高い水準の達成へと導きます。

学課プログラム

シャーリー・ボーイズ・ハイスクールには、次のような、幅広く総合的なカリキュラムと専門能力養成プログラムがあります。

- 数学、科学および芸術のあらゆる科目、音楽、グラフィックス、商業、英語、外国語、技術、社会科学、体育。
- リソースの充実したホスピタリティ施設、電子実験室、美術室、技術室、音楽練習室およびスタジオ。
- ラグビー場、サッカー場、人工芝ホッケー場、体育館2棟、ウェイトトレーニングルーム、ロック・クライミング・ウォール、テニスコートなどの近代的なスポーツ施設。

www.shirley.school.nz

SHIRLEY BOYS' HIGH SCHOOL
"Kiwi Soul, Global Vision"

国際留学生プログラムとサポート

ESOL - ESOL(他言語話者の英語)は、英語学習のサポートと英語以外の科目のサポートが必要な留学生に提供されます。

ホームステイ – 本校がホームステイを手配し、管理します。すべての留学生は、クライストチャーチ空港で出迎えを受け、ホストファミリー宅へ案内されます。すべてのホストファミリーは、「Code of Practice(教育に関する服務規程)」の要求に応じて、警察の審査を受けており、留学生に紹介される前に訪問を受けています。シャーリー・ボーイズ・ハイスクールは、教育省が発行する「Code of Practice for the Pastoral Care of International Students(留学生の生活保障としての)教育に関する服務規定」を遵守することに同意しています。

本校を選ぶ理由：他校との相違点

特別注文キャンパス – 本校の近代的なキャンパスは2019年にオープンしました。特別注文建築で、設備が大変充実しています。また、真新しい市営プールの隣に所在しているため、本校生徒はスイミングプールに容易にアクセスすることができます。また、「School of Gymnastics」(体操専門学校)にも隣接しています。

エイボンサイド・ガールズ・ハイスクールとの施設の共有 – エイボンサイド・ガールズ・ハイスクールおよび本校は、それぞれ女子教育、男子教育専門の教育を行なっていますが、ドラマ制作やカパハカ(マオリの伝統舞踏)など、特定の活動を共同で行う機会があります。また、将来的に高学年のいくつかの授業を共同で行うことも検討されています。図書館やカフェテリアなど、一部の共有スペースは、両校共同で利用できるよう巧みに設計されていますが、教室、科学実験室、体育館など実際の教育エリアは、それぞれ男子専用、女子専用となっています。

少人数限定の留学生 - シャーリー・ボーイズ・ハイスクールの生徒総数は1,200名です。本校の留学生は比較的少人数のため、授業中のサポートなどの学習面や、生活や精神などの福祉面で、献身的なインターナショナルチームによる支援を受けられます。

進路プラン- 留学生の将来設計は、本校プログラムにおいて欠かせないものです。本校の目的は、留学生が将来の目標を達成できるよう支援し、成功へ向けたさまざまな機会が与えられるようにすることです。

総合的な成長を促す教育 – 留学生が学校のさまざまな活動やクラブ活動に参加することを奨励しています。バスケットボール、卓球、バドミントンなど学校のチームに所属している留学生がいます。また、音楽好きな留学生は、音楽部に所属し、音楽施設を定期的に利用しています。

昨年は、ドラマ製作に携わった留学生もいました。本校は、地域社会のクラブ活動を紹介することもできます。今年は、ボーイスカウトに3名、地元のフットボールチームに1名、地元の剣道クラブに1名、地元の教会に1名の留学生が参加しています。本校では、公共奉仕やボランティア活動への参加を奨励しています。複数の留学生が、本校の園芸活動に携わっており、収穫した野菜は、シティーミッション(キリスト教系列のボランティア団体)に寄付され、必要としている人々に配られます。

関連する重要なウェブサイト

＊シャーリー・ボーイズ・ハイスクールの「ERO(Education Review Office: 政府教育監査機関)による学校評価レポート」は、下記のウェブサイトからダウンロードできます。
https://www.ero.govt.nz/review-reports/shirley-boys-high-school-02-11-2015/

＊「Code of Practice for the Pastoral Care of International Students(留学生の生活保障としての)教育に関する服務規程」は、下記のウェブサイトからダウンロードできます。
https://www.nzqa.govt.nz/assets/Providers-and-partners/Code-of-Practice/Code-of-Practice-Amendments-2019.pdf

本校のウェブサイト - http://www.shirley.school.nz/

本校のFacebook:
https://www.facebook.com/shirleyboyshighschoolinternational/

お問い合わせ

スー・ネスビット Sue Nesbit
国際部長
smn@shirley.school.nz
学校電話：+64 3 3757057 内線 216
携帯電話：+64274330816

リアン・ラス Leanne Russ
国際部管理者
lor@shirley.school.nz
学校電話：+64 3757057 内線 392
携帯電話：+64274836277
Line ID: sbhs_leanneruss